

令和2年度科学研究費助成事業「新学術領域研究（研究領域提案型）」に係る事後評価結果

領域番号	2706	領域略称名	核マントル共進化
研究領域名	核マントルの相互作用と共進化～統合的地球深部科学の創成～		
領域代表者名 (所属等)	土屋 卓久 (愛媛大学・地球深部ダイナミクス研究センター・教授)		

(評価結果)

A (研究領域の設定目的に照らして、期待どおりの成果があった)

(評価結果の所見)

本研究領域は、核とマントルを結合系としてとらえ、その相互作用を明らかにするとともに、それらの共進化プロセスの解明を目指し、物性測定・化学分析・物理観測・理論計算の異なる手法の融合により、統合的な地球深部科学を創成する研究である。これまで推定の域を超えることがなかった地球内部の高温高压下の化学組成や物性値を定量的に取得し、議論する手法を開発することにより、核とマントルの相互作用の解明の糸口をつかんだ点は評価に値する。また、本研究領域において地球科学と化学系並びに物理系の融合による共同研究の推進により、当初の想定を超えて非常に高いインパクト、学術的に価値の高い成果が数多く得られており、特筆に値する。

中間評価で指摘のあった事項は適切に対処し、大きく改善が見られた。また、若手育成やSNSを活用した研究成果の積極的な発信を行うなど、領域運営面においても成功を収めた。

核とマントルの相互作用については、定量的議論に基づいた堅実な手法により仮説が証明されている一方、時間軸を考慮した核とマントルの共進化の統合的理解については、まだ明確になっていないと言え、今後の展開に期待したい。